



APOLLO
MEDICAL HOLDINGS

海外研修だより

～薬剤師だって、空を飛ぶ～



視察内容

視察地:ロンドン、バルセロナ

日程: 2016年11月21日～11月28日

1日目 座学

英国医療の概要 英国医療の概要

2日目 講義・視察

- ・ロンドン大学薬学校での講義
- ・ロンドン大学病院薬剤部視察
- ・Spring Pharmacy (個人調剤薬局) 視察



3日目 視察・観光

- ・Lloyds Pharmacy (スーパーマーケット併設型調剤薬局) 視察
- ・Abbey road (アビー・ロード) 観光
- ・JOHN BELL & CROYDEN (王室御用達調剤薬局) 視察

4日目 座学・視察・観光

- ・英国薬剤師の役割の拡大について講演
- ・PGDと薬剤師の処方権について講演
- ・Harleys PHARMACY 視察
- ・市内観光



5日目バルセロナへ移動・視察・観光

- ・PHARMACIA GRAS (個人調剤薬局) 視察
- ・サグラダファミリア (聖家族教会)



視察内容

■ JOHN BELL & CROYDEN (王室御用達調剤薬局)

1798年、ジョン・ベルとクロイデンがオックスフォード通り(ロンドン)でオリジナル薬局を開いた。

ジョン・ベルの息子ジェイコブは薬剤師のパイオニアで、イギリスの職業として PHARMACY を設立する。

薬剤師:4名 パート薬剤師 テクニシャン:1名 アシスタント:8名 ディスペンサー:6名 売上:調剤50% OTC50%

ネットを介して診察を行うオンラインドクターがあり、処方箋を発行してもらうことが出来る。

また、予約なしで来られるウォークインクリニックでは、軽い症例であれば処方権をもつ薬剤師が対応し、処方を行っている。

王室御用達でいるには、1,400の条項に適しているか、高いスタンダードが保たれているか、6か月に1度のチェックにクリアしなければならない。

■ 王室薬剤師協会 (RPS)

RPSは、公衆の衛生と健康を向上させるため、薬剤師専門職をリードする目的で設立された。

RPSは、グレート・ブリテンに於ける薬剤師と薬局の会員制職能団体であり、医薬品情報に関して国際的に有名な出版社である。

公衆と患者の利益のため、薬剤師専門職を向上し、会員の未来を確保、そして、公衆の健康を向上に寄与する。



参加者からの感想



日本同様、高齢化が進んでいる英国では、GPという仕組みが確立している。医療を円滑に行うため、GPで診てもらい、より専門的治療が必要と判断された場合には、病院に紹介するという住み分けは効率的でよいが、デメリットとして、GP一人が抱える患者数はとても多く、予約を入れてから実際に診察されるまでに数日かかってしまう。医師の負担軽減や患者の待ち時間軽減の為、地域単位で医師と薬剤師の協定の元、特定領域において薬剤師に処方および薬剤交付を認める PGD (Patient Group Direction) や、一定の研修を経て医師とは独立した IP (Independent Prescriber) の資格を取得し活躍している薬剤師がいる。他に、予防接種も行っており、薬剤師の職能範囲がとても広い印象を受けた。将来の日本の薬剤師像を垣間見ることが出来たように思う。